

# 皆様に「いきいき」をお届けすることが私たちの最大の責務です。

宝酒造株式会社 取締役社長

大宮 久



—宝酒造のCSR活動の基本は何でしょうか？

宝酒造が社会から信頼され必要とされる企業であることです。当社の企業理念には、自然との調和を大切に、人々の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献することを掲げています。この企業理念を実現することこそが宝酒造のCSRであり、皆様からの信頼と支持を得られるものと考えています。そのためには、社員一人ひとりが誠実な気持ちで日々の業務に取り組むことが大切だと感じています。

—具体的にはどのような活動が大切だと考えていますか？

まず第一は、事業活動を通じ、消費者の方々が求める高品質でおいしい商品を開発し届けることです。商品やサービスを通じて、消費者の皆様へ「いきいき」とした生活を送ってもらえることが最も重要な社会的責任だと思っています。

そのためには、消費者の皆様が何を望んでいるかを感じ取ることが何より大切です。心の中にある潜在的な欲求を汲み取りそれを商品として具現化するわけですから、簡単なことではありませんが、社員には常に消費者の視点に立って考えるよう求めています。当社の行動規準にも、このような思いが反映されています。

第二は、しっかりした品質管理のもと製造された商品をお届けすることです。

## 企業理念

自然との調和を大切に、発酵やバイオの技術を通じて人間の健康的な暮らしと生き生きとした社会づくりに貢献します。

## 行動規準

### 消費者のいきいきは、私のいきいき

—すべての行動は消費者の視点からスタートします—

1. パートナーと協力し、自ら率先して仕事の質を高めます。
2. いつも「なぜ？」と問いかけ、変革をすすめます。
3. 自信と誇りにあふれるプロをめざし、スキルアップに努めます。
4. ユニークな発想で、摩擦を恐れず議論します。
5. 情報感度を磨き、目標に向かって迅速にチャレンジします。
6. 自己の言動に責任をもち、法・社会倫理を守り、自然との共生に取り組みます。

—しかし近年、事故米の事件をはじめとする不祥事が相次ぎ、食の安全・安心への信頼が揺らいでいます。

宝酒造では、消費者の信頼を得るために、どうしていますか？

原料から製造過程、最終商品に至るまでのすべての段階での品質管理が重要です。

そのため、それぞれの段階に携わる社員の意識やスキルといった人の面と、高精度の分析機器の導入や二重三重の検査といった管理体制の面の両方から品質管理を進めています。

—地球温暖化問題や生物多様性の問題など地球環境の破壊は深刻さを増しており、環境に配慮した事業活動はCSRの重要な要素となっています。

宝酒造ではどのような取り組みを行っていますか？

当社の主力商品は、穀物やきれいな水、微生物など自然の恵みを得て成り立っています。

すなわち、豊かな自然は当社が事業活動を続けて行くうえでの大前提です。このような考えから、自然保護活動には30年もの前から継続して力を入れて取り組んでいます。

また、当社が与える環境負荷では、商品を購入いただき消費された後に発生する空容器の問題が大きいと捉えています。このため、この空容器問題に対しても早くから全社で継続的に取り組んでいます。

—最後にステークホルダーの皆様へ一言。

昨年秋以降の世界同時不況をはじめ社会環境が大きく変化する中で、改めて当社はステークホルダーの皆様へ支えられていることを実感しています。

これからも社員一人ひとりが皆様の声を真摯に受け止め、皆様へ「いきいき」をお届けしていくことが、当社の最大の責務であると考えています。

この報告書を通じてステークホルダーの皆様へ当社の活動をご理解いただき、忌憚のないご意見をいただければ幸いです。